

# 東京バッハ合唱団 月報

[第572号] 2010年2月

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 5-17-21-101 郵便振替：00190-3-47604  
Tel：03-3290-5731 Fax：03-3290-5732  
mail: bachchortokyo@aol.com http://www2.tky.3web.ne.jp/~bach/chor/

BACH-CHOR, TOKYO

Monthly Newsletter No.572  
February 2010

5-17-21-101 Funabashi,  
Setagaya-ku, Tokyo

「バッハ・カンタータ 50 曲選」 楽譜 / CD

## 在庫を一掃します！！（先ずは、月報読者の範囲で）

オンデマンド方式への移行に向け

東京バッハ合唱団の、これまでのカンタータ演奏活動を記録する目的で、楽譜とCDの『バッハ・カンタータ 50 曲選』が刊行され（2000-2006）その後もひきつづき定期演奏会ごとに、その他のカンタータ楽譜が発行されて、合わせてすでに61曲に及んでいることに対しては、高い評価をいただき、将来の続行を期待されています。

しかし、この事業がどんなに困難であるかは、あまり理解されていないようです。また、音楽享受の社会的状況も変化してきて、たとえばCDなどは、各自が自由に超廉価で、かつ音質を下げずにコピーできるようになりました。楽譜は、さすがに全曲コピーしても使用しにくいのですが、コラール部分などだけをコピーして使うというケースはありそうです（残念ながら、バッハのカンタータを全曲通して演奏するだけの実力と機会を備えた演奏団体が、まだ多くないので）。しかし、これも数年のうちに、廉価で簡易なコピー製本のサービスが巷に出現するでしょう。

『50 曲選』完結後は、全国的な普及状況もよくわかってきましたので、新規発行の楽譜からは、需要に応じたオンデマンド方式で、残部の極少をこころがけておりますが、『50 曲選』の50点については、初版各500部～1000部のうち、限られた数曲以外は、いまだに多くの在庫を抱えております。

\*

他方、近年の対ユーロ円高の傾向が、『50 曲選』楽譜の価格を割高に押し上げています。たとえば、カンタータ第1番《あしたに輝く たえなる星よ》の販売価格を、国内のある小売店のデータで比較してみますと；

Breitkopf & Härtel	1,530 円（税込）	86
Bärenreiter	1,350 円（税込）	76
Carus	1,260 円（税込）	71
当「50 曲選」楽譜	1,785 円（税込）	100

のごとくです（2010年1月調べ）。右の列に、「50 曲選」を100としたときの割合を掲げておきます。底本としている Breitkopf 社との価格差も歴然としてきました。契

約当初（2000年）Br.社との間では、日本での販売価格をほぼ同額程度に設定することが条件で、むしろわれわれの楽譜のほうが安いケースもあったのですが、現在ではご覧のとおりです。

\*

そこで、第1期の楽譜発行から10年目をむかえる今年は、いちど損得を度外視して在庫を放出し、その後は、『50 曲選』CD（日本語演奏による）もふくめ、全体にわたってオンデマンド方式（注文に応じ、必要な部数のみを発行する）に切り替えていこうと思っています。

・『50 曲選』[楽譜]、すべて本体価格の半額!! に。  
・全曲セット（全50冊）：66,000 円 33,000 円

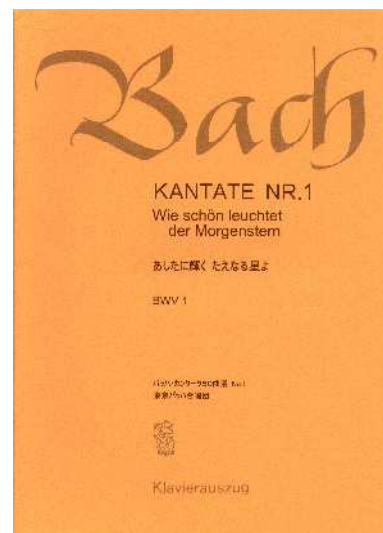
・『50 曲選』[CD]、全て2,300 円を 500 円!! に。  
・全曲セット（全20巻）：40,000 円 10,000 円  
ただし、残部3セットのみ

割引きの内容は、上記のとおりとします。いずれ、合唱団の外部に向けても広告をする計画ですが、先ずは、月報読者の範囲に限らせていただきます。

CDには、すでに品切れの巻（第1巻、第8巻）もあります。4ページに全商品目録をかかげますので、事務局あて、お早めにお申込みください（はがき・FAX・E-mail など。上掲月報タイトル囲み内参照）。折り返し、振替用紙を同封して、商品をお届けいたします（送料は当方負担）。

\*

『50 曲選』以後の新規の楽譜は、上述のとおり、すでに少部数出版に切り替えたものですので、割引きの対象とはいたしませんので、ご了承ください。



## 2010年 年賀状より

謹賀新年 昨年末、世田谷中央教会でのクリスマスコンサート、久しぶりに大村先生のお元なお姿をまじかに拝し、皆様の熱のこもった合唱に、身のひきしまる思いでした。とくにモテットが心に響きました。ドイツ演奏旅行の成果が感じられました。この6月には、懐かしい石橋メモリアルホールで、皆様の演奏に接せられますこと、楽しみです。(花井鉄弥・後援会員)

ヨーロッパ演奏旅行で与えられた活力と感謝の思いを力にして、新しい年を歩みだしたいと思います。(松尾茂春・団員)

東京バツ八合唱団での17年間は、私にとってかけがえない宝物です[昨年末、大分に転居]、本当にありがとうございました。先生のご健康と合唱団のますますの飛躍を、心からお祈りしています。(藤沢泰代・前団員)

「月報」を通してうかがう御活躍、ただただ脱帽あるのみです。(宮田光雄・団友)



昨年はヨーロッパ演奏旅行を、いろいろ不安定な難しい時期に堂々と実現なさり、さすがに東京バツ八合唱団の力のすごさを感じました。(黒田みつ子・後援会員)

今年もコンサートの入場券、よろしくお願いします。(松野晴一・DM会員)

肥大化した軍需産業で、経済的にも全世界をドミネイトしなければ夜も日も明けないで進んできた。これにピッタリ寄り添ってきたのが、戦後の日本をまるまる牛耳ってきた自民党政権だった。アメリカが西に東に出兵し、あちこちで派手に戦争を仕掛けるたびに、ハイわかりました、と即座にあとをついてゆく。そのみっともない追従ぶりは世界の笑いものとなりつづけた。

今や、その汚名(アメリカの「ポチ」)をぬぐう時がやっとめぐってきたところである。しかるに、アメリカがせつづく期限内に、沖縄の基地問題を解決しないからといって、またもや「アメリカが怒っている」といってマスメディアはビクつく。多少、日数を費やしても、とことん根本から考え直す機会なのだ。世界中のどこに、こんな奴隷状態を放っておく国があるのか。また、隣接する中国、北朝鮮が、いつ攻め込んでくるかわからない、ロシアは昔から危険で、だから北海道には、冷戦が終わっても自衛隊が強力にはりついているのだとか、そんなことを重視しない新政権は、大甘の無資格ボンボンだ、と罵り放題。

今年は、日韓併合100年をはじめ、明治以来の日本の旧悪の記念がいくつも重なる年になっている。また、NHKの連続番組でもとりあげている朝鮮半島との交渉史では、古代わが国が国家を成すにあたって手本とした中国、朝鮮の諸制度や文化をとりいれ、いっぽうでは、その恩恵を受けた国々に海をわたってまで攻め込み、そのあげく、何万、何十万という人々(それも、すぐに役立つエキスパート、エリートたち)を連行し、たくさんの宝物を分捕ってきた。そんなことは世界中どこの強国もやっていたこと、手荒ではあっても、そうやって未開の地に文明が早くゆきわたりもしたじゃないか、と開きなおる論客多数。

それは仕方ない趨勢だったのだと、いって済まされるものではない。ましてや日本の場合、自分を育ててくれた国の、平和なおびたしい数の民を、家族からもぎとり、離散の苦しみのうちに後生を異郷で終えさせたのである。たとえば、16世紀末、朝鮮出兵の際に拉致してきた陶工の話だと、材料となる土を探すのに、食もなしに日夜、未知の山野を彷徨させられたという。たびかさなる大がかりな朝鮮訪日使節団も、いくら贅をつくしてもてなされたからといって、多くの知人・家族が連行されたまま近くのどこかで苦しみ悲しんでいる国に来ながら、どんな喜びを見出せるのか。そんな誇らしげにふるまう資力があるのなら、仲間を故国に送り返すのに使え、とどなりたくなつたにちがいない。

このような、日本人の無神経さ、相手に対する想像力のとぼしさ、押しつけ好意のはき違えは、さっぱり改まらず、戦後も、今にいたるまでも「朝鮮や満州では、現地の人たちはみんな、日本人の施しをありがたがり、喜び、日本人になついていた」と、本心で思い込み、そとに平気でうそぶいている人たちが大勢いる。恥知らずも

### < 新年随想 >

## 「仮想敵国」とは？

大村 恵美子

日本の疲弊症状として、マスメディアの低機能ぶりが甚だしい。昨年の政権交代以降、私はあまりテレビを見たり、雑誌を熟読したりしなくなっている。さしあたっては、論ずるよりは行えである。

これも、どうしようかと迷ったが、大晦日から元旦にかけての「朝まで生テレビ」をのぞいてみた。保守派のひとつとは、しきりと新内閣の軍事面の不備・無策を、亡国にいたる懸念としていて、「わが国にとって仮想敵国がどこなのか、それすらはっきりさせないでどうするか」と、息巻いていた。

アメリカは、開国以来、敵に立ち向かうのを旨とし、仮想敵国または現実化した敵国を相手に軍備を拡大し、



極まれり。

それがアメリカに対しては、原爆を落とされてもシャーシャーと‘ポチ’におさまる有様だ。武士道のいさぎよさとは何なのか？ 普遍的な愛はそっちのけで、ただわが養い主、雇い主だけに服従、忠誠をささげ、そして他の人間関係は容赦なく排除する。狭量な、いわばヤクザもどきの直属の、親分子分関係が、基本となりがちなのではないのか。

もうそろそろ、この 2010 年から、私たちも、相手の心を洞察することに立ち返って出発しなそう。大声で「仮想敵国」呼ばわりされて、怒らない君子が存在するだろうか。隣と仲良く、人類みなわが兄弟家族、というのはソフトクリームの甘ちよる思想ばかりでもなく、もっとも現実的な自衛策でもありうる。上目づかいではなく、まっこうから「さあどうぞ、武器を置いて、交わりにきてくださいよ」と招く。永世中立こそ、むしろ長持ちのする現実目標である。平和を亡国と早とちりするブームは、払いのけてゆこう。

【楽譜出版協力募金】報告 2009 年 12 月 31 日現在  
ご応募：93 名  
合計額：8,188,000 円（以上累計）  
達成率：約 82% 目標 1000 万円

柳元 宏史

連載：全部おすすめ 50 曲選!! <その 23>

### カンタータ第 150 番〈なれを 主よ われは仰ぐ〉

「キリストを仰ぐ」というタイトルで説教したばかりだったので、タイトルに引かれてこのカンタータを手にし、聴いてみることにした。バッハが弱冠 23 歳の若い感性でこれを作曲しているを知って、びっくりした。バッハにはいつもびっくりさせられる。内容の深さ。長い人生を送ってきた人のように、あまたの試練や災いに対して、どのように信仰をもって乗り越えていったらいいのかを考えつくしている。後のカンタータの性格を方向付けるような内容である。

この曲は、歌詞作者・用途ともに不明のものである。しかしはっきりしていることは、旧約聖書の詩編 25 篇を基調に作曲されていることである。25 篇の冒頭を聖書（新共同訳）から引用すると、こうである。「主よ、わたしの魂はあなたを仰ぎ望み / わたしの神よ、あなたに依り頼みます。どうか、わたしが恥を受けることのないように / 敵が誇ることのないようにしてください。あなたに望みをおく者はだれも / 決して恥を受けることはありません。いたずらに人を欺くものが恥を受けるのです。」

バッハは、幼少の頃から苦労人であった。早くから自立を余儀なくされていた。彼は、この曲を作曲したと推定される前年（1707 年）に結婚し、家庭を持っている。そのような背景の中で作曲されている。

最初のシンフォニアの曲調が、最後の合唱まで、全体の曲調を支配しているといってよい。明るくはない。どちらかといえば、ずしりと暗い。深みがあると言ってもいいかもしれない。だからこそ、この世に襲いくる嵐あまたの試練 死と黄泉と わざわい が迫るとしても、われ 満ち足りてあり と歌い（第 3 曲、ソプラノ・アリア）はっきりとした決意が示されている。

新天地、岡山に来て 10 ヶ月が過ぎた私はどうか？ 平静を装っていても、思いがけないことに七転八倒し、慌てふためき、未だにはらはらしている。そういうときこそ、一呼吸おいて、本来見上げなければならないところへ、心を向けなければならないのかもしれない。

わが目は つねに 主に向けらる

わが足を 畏より 救えば（第 6 曲、合唱）

いかなる状況にあっても、主を仰いで生きる。不変の真理に目を向けることを、この落ち着いたカンタータから、教えられた気がする。若きバッハのみずみずしさの中にある凄みをご堪能頂きたい。

（やなぎもと・ひろし、団友・蕃山町教会伝道師）

CD バッハ・カンタータ 50 曲選 [ 第 17 巻 ] に収録 .S 光野孝子 , A 佐々木まり子 , T 平良栄一 B 渡邊明 . 大村恵美子指揮・東京バッハ合唱団 / 東京カンタータ室内管弦楽団 . 1997 年録音 ( 第 81 回定期演奏会 , 石橋メモリアルホール ) 楽譜 : 「 50 曲選 」 No. 42

\* ) 当カンタータの歌詞は、右サイトをご参照ください : <http://www.ab.auone-net.jp/~bach/>

# 「バッハ・カンタータ 50 曲選」 楽譜 / CD 在庫一掃・特価大放出

[楽譜] 本体価格の50%OFF

[CD] 2,300円 500円

BWV 番号	日本語曲名	本体価格	提供価格
BWV 1	あしたに輝く たえなる星よ	1,700	850
BWV 4	キリスト 死につながれしが	1,900	950
BWV 6	とどまれ 我らと	1,400	700
BWV 8	み神よ わが死は いつ	1,600	800
BWV 16	主 ほめうたわん	1,400	700
BWV 19	戦い 起これり	1,700	850
BWV 21	われは 憂いに沈みぬ	1,900	950
BWV 26	はかなく むなしき 地なるいのち	1,400	700
BWV 29	み神に 謝しまつらん	1,500	750
BWV 30	よるこべ 救われし民	2,000	1,000
BWV 36	喜びのぼれ いと高き星に	1,900	950
BWV 39	あたえよパンを 飢えたる者に	1,700	850
BWV 40	地に来ませり 神のみ子	1,600	800
BWV 41	イエスをほめよ 新たな年に	1,600	800
BWV 42	同じ安息日の夕べ	1,800	900
BWV 45	主は告げぬ よき行いの何なるかを	1,600	800
BWV 47	おのれを高むる者は 低くせられ	1,400	700
BWV 56	十字架を 勇みて負わん	1,200	600
BWV 61	いざ来たりませ 世の救い主	1,400	700
BWV 63	彫りきざめ この日	1,800	900
BWV 68	み神はこの世を かく愛したまえり	1,600	800
BWV 71	主は わが君	1,700	850
BWV 72	みなすべて み心のままに	1,500	750
BWV 76	主の栄光を 天は語り	1,900	950
BWV 77	主を愛すべし 心のかぎり	1,400	700
BWV 78	イエス わが心を	1,700	850
BWV 80	かたき砦ぞ わが主は	2,000	1,000
BWV 84	われ足れり わが幸に	1,200	600
BWV 93	ただ 主に よりたのみ	1,500	750
BWV 99	神のみわざこそ ことごと善けれ	1,400	700
BWV104	まきびと 主よ きけよ	1,600	800
BWV106	神の時は いとも ただし	1,400	700
BWV110	よるこび 笑い あふれ	1,700	850
BWV116	平和の君 イエス	1,500	750
BWV123	いとしイマヌエル わが魂の救い主よ	1,300	650
BWV124	イエス ともにあらん	1,400	700
BWV129	ほめ讃えよ 主を	1,600	800
BWV131	深みより 主よ われはなれを呼ぶ	1,800	900
BWV137	ほめよ主を 強き栄えの君を	1,500	750
BWV140	めざめよと呼ばわる ものみの声高し	1,900	950
BWV147	心と日々わがもて	2,100	1,050
BWV150	なれを 主よ われは仰ぐ	1,700	850
BWV156	墓に 片足入れ	1,200	600
BWV180	装え心よ 罪の闇を去り	1,500	750
BWV187	待ち望む みな なれを	1,600	800
BWV190	主にむかいて歌え 新たな歌を	1,500	750
BWV192	ああ 感謝せん 神に	1,400	700
BWV194	大いなるこの日 新たな宮を	1,900	950
BWV196	主は おぼえたもう われらを	1,200	600
BWV197	主 かたき望み	1,700	850
全 50 冊 合計		79,900	39,950
全曲セット も 50% OFF 従来 66,000			33,000>

C D	収録曲	在庫
第1巻	BWV 1	セットのみ
	BWV 4	
	BWV 6	
第2巻	BWV 8	僅少
	BWV 16	
第3巻	BWV 19	
	BWV 21	
第4巻	BWV 26	
	BWV 29	
第5巻	BWV 30	僅少
	BWV 36	
第6巻	BWV 39	
	BWV 40	
第7巻	BWV 41	僅少
	BWV 42	
第8巻	BWV 45	僅少
	BWV 47	
第9巻	BWV 56	
	BWV 61	
第10巻	BWV 63	セットのみ
	BWV 68	
第11巻	BWV 71	
	BWV 72	
第12巻	BWV 76	
	BWV 77	
第13巻	BWV 78	
	BWV 80	
第14巻	BWV 84	
	BWV 93	
第15巻	BWV 99	
	BWV 104	
第16巻	BWV 106	僅少
	BWV 110	
第17巻	BWV 116	
	BWV 123	
第18巻	BWV 124	
	BWV 129	
第19巻	BWV 131	
	BWV 137	
第20巻	BWV 140	僅少
	BWV 147	
第21巻	BWV 150	
	BWV 156	
第22巻	BWV 180	
	BWV 187	
第23巻	BWV 190	
	BWV 192	
第24巻	BWV 194	
	BWV 196	
第25巻	BWV 197	
	BWV 199	
全曲セット 従来 40,000		10,000